

公益財団法人日本バスケットボール協会 外国籍コーチに関する特例措置

公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「本協会」という）が定める「公認コーチライセンス制度」および「コーチ登録規程」の附則として、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（B1・B2）、一般社団法人ジャパン・バスケットボールリーグ（B3）および一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ（WJBL）に参加するチーム所属の外国籍のコーチ、また、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（B1・B2）に承認されたユースチーム所属の外国籍コーチに関し、次の通り定める。

（資格基準）

第1条 JBA公認S級/A級/B級コーチ資格を有しない外国籍のコーチについては、別表の基準に基づき、コーチ資格を付与する。

（審査および認定）

第2条 JBA公認S（F）級/A（F）級/B（F）級コーチの審査については、所定の様式にて各リーグを通して本協会への申請を行う。

2. 申請に際して必要な資格審査手数料は次のとおりとする。

- (1) JBA公認S（F）級コーチ 70,000円
- (2) JBA公認A（F）級コーチ 60,000円
- (3) JBA公認B（F）級コーチ 50,000円

3. 本協会は前条に基づいて申請内容を審査し、JBA公認S（F）級/A（F）級/B（F）級コーチの認定証を発行する。

4. 一度付与された資格以外の資格付与を希望する際には、再度、申請を行わなければならない。

（登録）

第3条 JBA公認S（F）級/A（F）級/B（F）級コーチに認定されたコーチはコーチ登録をしなければならない。

2. 登録料は次のとおりとする。

- (1) JBA公認S（F）級コーチ
12,500円/年
- (2) JBA公認A（F）級コーチ
6,000円/年
- (3) JBA公認B（F）級コーチ
5,000円/年

3. 登録手続き、登録有効期間等は、コーチ登録規程に準ずる。

2014年10月27日制定

2016年7月14日一部改定

2017年10月1日一部改定

2018年4月1日一部改定

【別表】

	基準	付与資格	
(1)	2015年以降に発行されたFIBAコーチライセンスを有する者。 但し、2014年以前に発行されたライセンスの場合、そのシーズンのFIBAランキングが日本を上回る国の代表ヘッドコーチを含む。	JBA公認S(F)級コーチ	
(2)	(1)以外の国外のコーチライセンスを有する者で、そのライセンスの種類がJBA公認S(F)級/A(F)級/B(F)級コーチにふさわしいと本協会の技術委員会が判断した者。	JBA公認S(F)級コーチ JBA公認A(F)級コーチ JBA公認B(F)級コーチ ※ライセンスの種類によって付与資格を判断する。	
(3)	アメリカ合衆国(一部カナダを含む)における各リーグにおいて、フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。	①NBA、WNBAのコーチ/1シーズン(1年)以上 あるいはNCAAディビジョンIのいずれかのコーチ/3シーズン(3年)以上	JBA公認S(F)級コーチ
		②NBA、WNBA、NCAAディビジョンIのいずれかのコーチ/2シーズン(2年)以上	JBA公認A(F)級コーチ
		③NBADL、NCAAディビジョンII、NAIAディビジョンIのいずれかのコーチ/3シーズン(3年)以上	JBA公認B(F)級コーチ
(4)	(3)以外の海外のトップリーグにおいて、フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。	①ヘッドコーチ/3シーズン(3年)以上 あるいはリーグ優勝実績のあるチームのヘッドコーチ/1シーズン(1年)以上	JBA公認S(F)級コーチ
		②ヘッドコーチ/2シーズン(2年)以上	JBA公認A(F)級コーチ
		③コーチ(アシスタントを含む)/3シーズン(3年)以上	JBA公認B(F)級コーチ
(5)	NBL(JBL)、NBDL(JBL2)、WJBL、bjリーグにおいて、3シーズン(3年)以上、フルタイムのコーチとして活動した実績のある者。但し、2016年度以降のシーズンについては、活動した実績としてカウントしない。	JBA公認B(F)級コーチ	
(6)	海外のU16・U17・U18・U19代表チームにおいて、ヘッドコーチもしくはアシスタントコーチとして活動した実績のある者。	JBA公認B(F)級コーチ	

- ・補足1 (3)と(5)に示されているコーチ実績を合算してカウントすることはできない。
- ・補足2 (4)と(5)に示されているコーチ実績を合算してカウントすることはできない。